

耐震診断結果の見方

- ①「評価の結果」の数値が、附表のどの部分に当てはまるかを確認します。係数 Z、G、U については、附表の下段を参照。
- ②当てはまる欄の上部に「安全性」の評価（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）が記載されていますので、その内容を確認してください。
- ③備考欄には補足事項を記載してあります。

要安全確認計画記載建築物（防災拠点建築物）の耐震診断結果

建物の名称	建物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
					内容	実施時期	
〇〇〇	〇〇市〇〇	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001 年版）	Is/Iso=1.11 C _{TU} ・S _D =0.79	① —	—	③ Z=0.9 G=1.0 U=1.25

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001 年版、2017 年版）	Is/Iso < 0.5 又は C _{TU} ・S _D < 0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0 ≤ Is/Iso かつ 0.3・Z・G・U ≤ C _{TU} ・S _D

- Ⅰ．大地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- Ⅱ．大地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- Ⅲ．大地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
- （※）震度 6 強から 7 に達する程度の大規模地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされています。
- （※）耐震診断結果の備考欄に特記無き限り、Z（地域指標）＝0.9、G（地盤指標）＝1.0、U（用途指標）＝1.0